

## 温暖地水稲栽培における晩植と2回代かきによる雑草イネの耕種的防除

利用対象：普及指導員

雑草イネの発生盛期を過ぎてからの2回代かき、移植が耕種的防除として有効です。

### (特徴)

- ① 5月中旬移植の場合、雑草イネの発生終期は6月中旬頃で移植後30日程度まで有効な除草剤による防除が必要です。一方、雑草イネの発生盛期を過ぎた6月上旬頃に1週間程度の間隔で2回代かきを行い移植すると、その後、雑草イネの発生はほとんどみられません。
- ② 2回代かきにより1回代かきより雑草イネの埋没効果は高まります。代かき前に発生した雑草イネを代かきにより確実に埋没させることが重要で、埋没できずに残った個体には除草剤の効果は期待できません。

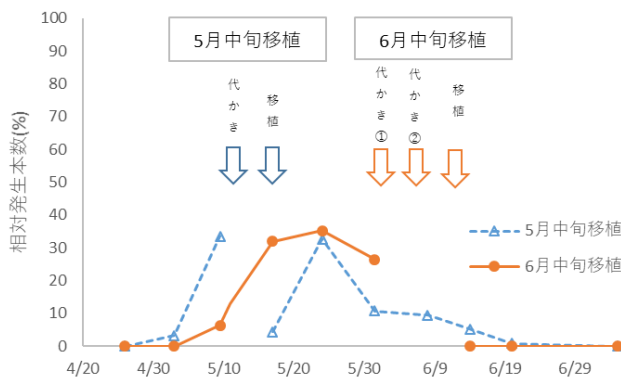


図 雑草イネの発生消長 (2019)

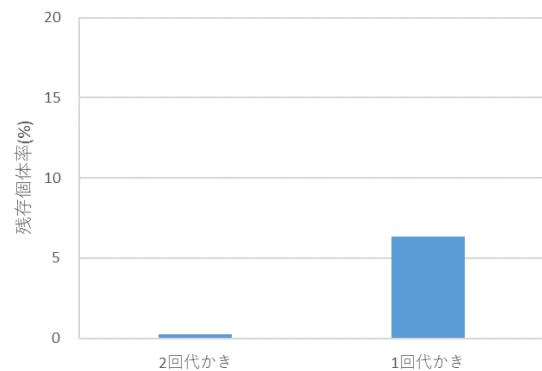


図 2回代かきによる雑草イネの埋没効果

### (利用場面と留意点)

- 雑草イネの防除にあたっては有効な除草剤体系や他の耕種的防除方法と組み合わせて実施します。
- 雑草イネの埋没効果を高めるため、代かきは処理時の水量をやや少な目とし丁寧にいきます。
- 代かき前に耕起や非選択性除草剤の処理により発生個体を防除することも有効です。

お問い合わせ先	伊賀農業研究室 中央農業改良普及センター	中山幸則 田畑茂樹	電話 0595-37-0211 電話 0598-42-6323
参考になる資料	<a href="https://www.pref.mie.lg.jp/nougi/hp/74882027005.htm">https://www.pref.mie.lg.jp/nougi/hp/74882027005.htm</a> (三重農研HP)		